

令和元年 7 月 24 日



名古屋港管理組合

「第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画」
平成30年度の取組結果について

本組合では、第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画(平成29年7月策定)(以下「第4次実行計画」という。)に基づき、指定管理者、PFI 特定目的会社とともに温室効果ガスの排出削減を推進しております。

第4次実行計画の2年目となる平成30年度の取組結果は、温室効果ガス総排出量13,036トン(CO₂換算値)で、平成25年度(基準年度)から14.2%削減となりました。

なお、詳細については別添資料をご参照ください。

【お問合せ先】
名古屋港管理組合 企画調整室 環境担当
担当 鈴木、近藤
TEL 052-654-7892

※別添資料の内容で名古屋港のホームページにも掲載いたします。

平成30年度 温室効果ガス総排出量等 集計結果

■ 温室効果ガス総排出量と基準年度の比較（CO₂ 換算値）

項 目	目標 (令和3年度)	単 位	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	削 減 率
温室効果ガスの総排出量	基準年度比 14%削減	t／年	15,198	13,036	14.2 %削減

■ 温室効果ガス総排出量削減に係る目標及び実績

取 組 項 目	項 目	目 標 (令和3年度)	種 類	単 位	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	削 減 率			
財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) 燃料使用量	公用車	ガソリン	kl／年	36	30	▲ 18	% (CO2換算)		
		14%削減	軽油	kl／年	2.8	2.2				
			天然ガス	千m³／年	1.0	0				
		船舶	ガソリン	l／年	26	2308	▲ 17	% (CO2換算)		
14%削減	軽油	kl／年	62	49						
その他の事務・事業に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 電気使用量	事務		万kWh／年	236	181	▲ 29	% (CO2換算)		
		14%削減								
	事業用施設		万kWh／年	2488	2302	▲ 15	% (CO2換算)			
	14%削減									
	(2) ガス、石油等の燃料使用量	14%削減	重油	kl／年	38			45	9	% (CO2換算)
			都市ガス	千m³／年	327			321		
			LPG	千m³／年	17	17				
			灯油	l／年	20	0				
	(3) ハイドロフルオロカーボン(HFC)などの代替物質を使用した製品等の購入・交換	適切な購入・交換	HFC	kg／年	0.64	0.54	－			
	(4) 電気機械器具からの六ふっ化硫黄(SF6)の回収・破壊	適切な回収・破壊	SF6	kg／年	0.39	0	－			

■ 地球温暖化の抑制につながる目標及び実績

取 組 項 目	項 目	目標 (令和3年度)	種類	単 位	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	削 減 率	
財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) コピー用紙の使用量	14%削減		t／年	16.5	15.4	▲ 7	%削減
その他の事務・事業に当たった温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 水道使用量	基準年度の数値以下		万m ³ ／年	2.0	2.5	25	%増加
	(2) 廃棄物の減量化	3%削減	廃棄物	t／年	14.6	14.3	▲ 2	%削減
		3%削減	可燃ごみ	t／年	11.6	11.2	▲ 3	%削減
	(3) 紙類のリサイクル	3%向上		%	68	68	0	%

■ 温室効果ガスの総排出量に係る項目の評価

第4次地球温暖化対策実行計画の取組2年目にあたる平成30年度の温室効果ガス総排出量（CO₂換算値）は、平成25年度（基準年度）から14.2%削減となり、温室効果ガス総排出量の削減は順調に進んでいます。

1 燃料使用量

- 公用車：低燃費車への買替、走行距離の減少により18%削減
- 船舶：港務艇の経済運航、燃費のよい小型船の稼働増により17%削減

2 電気使用量

- 事務：設備更新、事務所の移管・統廃合により29%削減
- 事業用施設：設備更新、施設の移管により15%削減

3 ガス、石油等の燃料使用量

- 中川ロポンプ所の稼働増加による重油の増加により9%増加

4 ハイドロフルオロカーボン

- 適切な購入・交換を行った。

5 六ふっ化硫黄（SF₆）

- 事務の移管により、対象器具の所管が変わった。

■ 令和元年度の取組

平成30年度の取組結果をふまえ、指定管理者等とともに、第4次実行計画の着実な推進に向け取り組んでいきます。